

地域計画

策定年月日	令和6年4月9日
更新年月日	()
目標年度	令和14年
市町村名 (市町村コード)	米原市 (252140)
地域名 (地域内農業集落名)	東番場 (東番場)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	17.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	17.2 ha
② 田の面積	17.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.5 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	1.2 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

高齢化が進み、各地権者には若い後継者がいるが農業をする後継者が居ないのが現状である。そのような中、後継者の若い世代が一人加わり、(有)親和と共に農地を守っていただく事になった。農業機械・肥料の高騰が続く中で、地権者が農業を維持をしていくのが難しい現状かと思うが、農道・排水路等の除草作業・獣害柵補修を区民の協力により保全をしていく。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

担い手に営農を継続してもらうために、東番場区として地権者と共に若い世代に協力をお願いして、農道の草刈り・排水路の整備・獣害柵のメンテナンス作業を行っている。令和4年度より地元から若い世代の担い手が力を発揮し、西勝農地の遊休地を購入して稲作を行い、遊休地が無くなった。今後も守るべき農地を指定して環境整備を行い、担い手の支援を行っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現在、神事原・西勝地先の水田に担い手として、(有)親和に全体の半分以上中間管理機構を通して水田を守っていただいている。令和4年より若い後継者が一人立ち上がってくれ、将来的には親和・若い後継者と話をしながら東番場の水田全体を守っていただき、集積・集約化を進めていきたい。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	69	%	将来の目標とする集積率
			73 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
将来的には親和・若い後継者と話をしながら、集積・集約化を進めていきたい。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間機構を原則利用し、担い手に農地をまとめていきたい。
(3)基盤整備事業への取組
・農地耕作条件改善事業等を活用し、農地の保全を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地元の若い後継者の支援と育成を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
無し

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

・「東番場まるごと保全会」を通じて、共同活動で農用地や用排水路、農道、獣害防護柵の保安全管理をしている。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和14年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻等	11.4 ha	ha	水稻等	11.4 ha	ha		
認農		水稻等	0.5 ha	ha	水稻等	1.1 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		11.9 ha	ha		12.5 ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。